PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference HOY62PCT876	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below		
International application No. PCT/JP2004/017730	International filing date (day/month/year) 29 November 2004 (29.11.2004)	Priority date (day/month/year) 27 November 2003 (27.11.2003)		
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237				
Applicant HOYA CORPORATION				

			·			
1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis. 1(a).					
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.					
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.					
3.	3. This report contains indications relating to the following items:					
	Box No. I	Basis of the report				
	Box No. Π	Priority				
	Box No. III	Non-establishment of opinapplicability	nion with regard to novelty, inventive step and industrial			
	Box No. IV	Lack of unity of invention				
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement				
	Box No. VI	Certain documents cited				
	Box No. VII	Certain defects in the inte	Certain defects in the international application			
	Box No. VIII	Certain observations on th	e international application			
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).					
			Date of issuance of this report 29 May 2006 (29.05.2006)			
The International Bureau of WIPO			Authorized officer			

Yoshiko Kuwahara

Telephone No. +41 22 338 90 90

Facsimile No. +41 22 740 14 35 Form PCT/IB/373 (January 2004)

34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

REC'D 26 MAY 2005

WIPO PCT

代理人

阿仁屋饰雄

様

PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2)

[PCT規則43の2.1]

あて名

〒102-0072

日本国東京都千代田区饭田橋 4丁目 6 番 1 号 2 1 東和ビル3階

発送日

(日.月.年)

24. 5. 2005

出願人又は代理人

の咨類記号 H0Y62PCT876 今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号 PCT/JP2004/017730

国際出願日 (日.月.年) 29.11.2004 優先日

(日.月.年) 27.11.2003

国際特許分類 (IPC) Int,Cl. G02C7/06

出願人(氏名又は名称) HOYA株式会社

1. この見解告は次の内容を含む。

▼ 第 Ⅰ 欄 見解の基礎

第Ⅱ欄 優先権 Г

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 Γ

第IV欄 発明の単一性の欠如

第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、

それを裏付けるための文献及び説明

第VI欄 ある種の引用文献

第VII概 国際出願の不備

第四欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解部を国際予備審査機関の見解否とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正街とともに、答弁街を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

28.04.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目4番3号 特許庁審査官(権限のある職員)

竹村 真一郎

電話番号 03-3581-1101 内線 3271

9810

2 V

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

国際調査機	観りの見解哲 	国际山嶼衛等 PC1/JP2004/01//30		
第1 欄 見解の基礎				
1. この見解否は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の督語を基礎として作成された。				
「 この見解書は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の首語である。				
2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解むを作成した。				
a. タイプ	配列安			
г	配列表に関連するテーブル	•		
b. フォーマット 「	書面	· .		
г	コンピュータ読み取り可能な形式	•		
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる			
Г.	この国際出願と共にコンピュータ読	み取り可能な形式により提出された		
	出願後に、調査のために、この国際	調査機関に提出された		
3. 「 さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。				
4. 補足意見:				
		•		

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを取付る文献及び説明 見解 **請求の範囲** 1-24 新規性(N) 請求の範囲 請求の範囲 1-24 進歩性(IS) 請求の範囲 産業上の利用可能性(IA) 請求の範囲 1-24 請求の範囲 2. 文献及び説明 文献 1: WO 00/62116 A1 (ホーヤ株式会社) 2000. 10. 19, 全文、全図 & US 6712467 B1 & EP 1170620 A1 文献 2: JP 2001-209012 A (ホーヤ株式会社) 2001.08.03, 全文、全図 ファミリー なし 文献 3: JP 2000-227579 A (旭光学工業株式会社) 2000.08.15, 全文、全図 & US 6186627 B1 文献4:JP 10-123469 A (株式会社メニコン) 1998.05.15,全文、全図 & US 5892565 文献 5: JP 9-90291 A (ホーヤ株式会社) 1997.04.04, 全文、全図 & US 5708492 A1 & EP 0872755 A1 文献 6:JP 2001-021846 A (東海光学株式会社) 2001.01.26, 全文、全図 ファミリ ーなし

請求の範囲1-24

請求の範囲1に係る発明は、国際調査報告で引用された何れの文献にも開示されておらず、新規性を有する。